

科目名	エアカーゴビジネス研究講座 I ①②	対象学年	1年	期間	通年
		曜日・時限	木・5-6(7-8)限	授業回数	90分×34回
授業種別	講義(担当講師実務経験有)	週回数	1回	取得単位	4単位
授業目的	エアカーゴビジネスの基礎的知識・技能を習得させる。				
達成目標	1、国際航空貨物業の基礎知識を身につける。 2、航空機地上支援サービス業の基礎知識を身につける。 3、空港保安業務の基礎知識を身につける。 4、航空貨物に関わる職種とそれぞれの業務についてその役割や関係を全体的に理解する。 5、航空貨物運送に関する空港の施設、航空機内の構造、地上支援機材、輸送用具等について知る。 6、航空貨物運送の規則や制限要因、時刻表スケジュール、運賃計算についての基本的知識を持つ。 7、航空貨物運送状の読み取りができる。				
授業回	授業内容				
1	1年次の学習指針、航空貨物運送とは				
2	成田空港の貨物施設とその機能				
3	航空機の構造と各部の名称				
4	国際貨物運送業界、航空貨物代理店				
5	輸出貨物と輸入貨物の流れ				
6	航空貨物の梱包とラベル				
7	航空機材とULD				
8	グランドハンドリング業務の概要				
9	グランドハンドリングの各業務				
10	地上支援機材(GSE)				
11	航空貨物業務に関する各種のコード				
12	前期のまとめと総復習				
13	前期末試験				
14	前期末試験解答解説				
15	航空貨物運送状				
16	航空貨物運送状の記載内容				
17	航空機の重量制限				
18	航空機の搭載制限				
19	オーストラリア ケアンズ研修旅行				
20	オーストラリア ケアンズ研修旅行				
21	航空貨物の運送制限				
22	航空時刻表の読み方				
23	時差、飛行時間の計算				
24	寸法、重量、通貨の端数処理(運賃計算の基礎)				
25	容積重量、運賃適用重量				
26	航空貨物運賃計算1(GCR)				
27	航空貨物運賃計算2(SCR)				
28	航空貨物運賃計算3(Class Rate)				
29	運送責任限度、従価料金、その他の料金				
30	航空貨物運賃の運送状記載				
31	航空貨物の予約業務とITシステム、英語用語				
32	後期のまとめと総復習				
33	後期末試験				
34	後期末試験解説				
成績評価	定期試験(80%)、出席率(20%)				
備考	選択必修科目(エアカーゴ、キャビンアテンダント、グランドスタッフ、ホテルから2つを選択) 6/26, 27成田空港見学				

科目名	エアカーゴビジネス研究講座Ⅱ	対象学年	2年	期間	前期
		曜日・時限	木・3-4限	授業回数	90分×17回
授業種別	講義(担当講師実務経験有)	週回数	1回	取得単位	2単位
授業目的	エアカーゴビジネスの実践的知識・技能を習得する				
達成目標	1、国際航空貨物業、航空機地上支援サービス業、空港保安業務の実務を理解する 2、航空貨物運賃計算について総合的に理解し、航空貨物運送状の作成が出来る 3、航空貨物に関する税関業務、検疫制度、保安制度について全般的に理解する 4、危険物の航空輸送について基礎的な知識を持つ 5、航空貨物業界の専門的な実務用語について知識を持つ				
授業回	授業内容				
1	2年次の学習指針、航空貨物業界の職種と業務				
2	航空貨物運送状の作成				
3	航空貨物運賃計算のまとめ				
4	特殊貨物、航空郵便				
5	カーゴマニユフェスト、航空貨物の保安精度				
6	危険物の航空輸送①				
7	危険物の航空輸送②				
8	前期中間試験				
9	前期中間試験解説				
10	航空貨物の検疫制度				
11	航空貨物の税関手続き				
12	航空貨物の保税制度、NACCS				
13	実務専門用語の解説① 運賃、ITシステム				
14	実務専門用語の解説② 認証制度、物流				
15	前期末試験				
16	前期末試験解説				
17	航空貨物業界の現況と展望				
成績評価	定期試験(80%)、出席率(20%)				
備考	前期選択必修科目(エアカーゴ、キャビンアテンダント、グランドスタッフ、ホテルから1つを選択)				